

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 8 日	
枚方市長 殿	
提出者 大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号 住 所 日本精線株式会社 枚方工場 氏 名 常務執行役員 枚方工場長 大塚 雅彦 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 072(840)1261	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本精線株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2238 伸線業
②事業の規模	338億円（令和4年度の製品出荷額）
③従業員数	543人（2023年4月1日時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本商業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・使用薬剤の更新周期延長を図る。 ・紙屑、廃プラ類の有効利用（再生紙、固形燃料） ・金属屑、廃油の有価買取		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・廃酸の再利用 ・廃水の再利用 ・廃油の再利用		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄製品を分別し、リサイクル化 ・紙屑を分別し、リサイクル化 ・廃プラスチックを分別し、リサイクル化		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を継続		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用方法, 再生技術の探索, 評価		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状を継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃酸, 廃水を社内で中和及び脱水後、残渣（汚泥）を社外処理。		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状を継続		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績無し。		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・無機汚泥の一部を有効利用（路盤材）業者へ委託。 令和4年度：1255ton ・有機汚泥の全部を有効利用（肥料）業者へ委託。 令和4年度：279ton ・廃プラスチックを有効利用業者へ委託。 令和4年度：51ton ・木屑の全量を有効利用業者へ委託。 令和4年度：58ton ・優良認定処理業者への処理委託優先		

②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・大同グループ内での優良取引事業者の探索 ・再生利用業者の探索		
※事務処理欄			

【前年度(令和 4 年度)実績】

数値入力セル

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府秋刀市池之宮4-17-1	日本精練株式会社 秋刀工場	設備部		072(840)1364	072(840)1374	

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										(⑩ = ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ = ⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)					②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)	
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分				⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)			
コード	名 称										⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑰優良認定処理業者 への処理委託量(t)			
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間処理 をせず自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄物の 当該中間処理前の 量	④の量のうち熱 回収を行った量	自ら中間処理を 行った後の量	④の量から⑤の 量を差し引いた 量	⑤の量のうち、自 ら利用し、又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分 を委託した量	⑬の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑮ 除く)	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処理 業者への焼却処理委託 量	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者以外の熱回 収業者への焼却処理委託 量	⑬の量のうち、委託して 焼却等の中間処理した量 (⑮～⑮を除く)	⑬の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑬の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	②の量と⑧の量を合 計したもの(自動計 算)	③の量と⑨の量を合 計したもの(自動計 算)
200	①汚泥	221						-		221	221	18			203	-	221	-	-
210	②有機汚泥	279						-		279	279	279			-	-	215	-	-
220	③無機汚泥	18,558			18,558		1,255	17,303			1,255	1,255			-	-	873	-	-
300	④廃油	47						-		47	47	43			3.9	-	47	-	-
400	⑤廃酸	231						-		231	231	222			1	8	161	-	-
500	⑥廃アルカリ	175						-		175	175	162			13	-	83	-	-
600	⑦廃プラスチック	51						-		51	51	51			-	-	49	-	-
601	⑧廃タイヤ	-						-		-	-	-			-	-	-	-	-
800	⑨木屑	58						-		58	58	58			-	-	58	-	-
1200	⑩金属くず	-						-		-	-	-			-	-	-	-	-
1300	⑪ガラスくず	0						-		0	0	-			0.0	0	0	-	-
2200	⑫管理型 混合廃棄物	46						-		46	46	-			46	-	46	-	-
2420	⑬石綿含有	1						-		1	1	-			-	1	1	-	-
2522	⑭蛍光灯	0.3						-		0.3	0.3	-			0.3	-	0.3	-	-
3520	⑮乾電池	0.1						-		0.1	0.1	-			0.1	-	0.1	-	-
	⑯																		
	⑰																		
	⑱																		
	⑲																		
	⑳																		
合計		19,668	-	-	18,558	-	1,255	17,303	-	-	2,365	2,088	-	-	268	9	1,756	-	-

(注1)トンは未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。

【今年度(令和 5 年度)目標】

数値入力セル

提 出 者					
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号
大阪府秋刀市池之宮4-17-1	日本精糖株式会社 秋刀工場	設備部		072(840)1364	072(840)1374
					電子メールアドレス

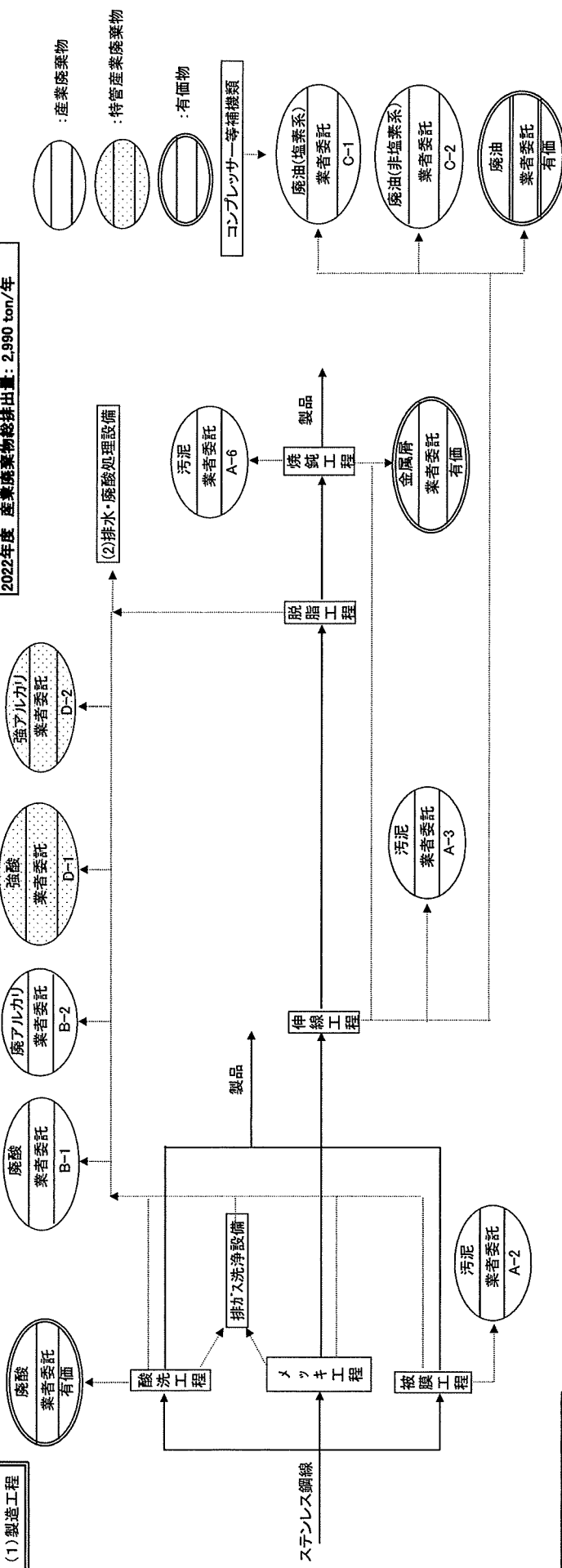
産業廃棄物の種類		①排出量 (t)	計 画 の 実 施 状 況										(⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)					②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)
			②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分			⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)				
コード	名 称											⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬の量のうち、認定熱回 收施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行っている処理業者へ の焼却処理委託量	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)			
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間処理 をせず自ら埋立処分又 は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄物の 当該中間処理前の量	④の量のうち熱 回収を行った量	自ら中間処理を 行った後の量	④の量から⑤の 量を差し引いた 量	⑤の量のうち、自 ら利用し、又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分 を委託した量	⑦の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑭、 ⑮を除く)					⑦の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	②の量と⑧の量を合 計したもの(自動計 算)	③の量と⑨の量を合 計したもの(自動計 算)
200	①汚泥	210						-			210	17			193	-	210	-	-
210	②有機汚泥	265						-			265	265			-	-	204	-	-
220	③無機汚泥	17,630			17,630		1,192	16,438			1,192	1,192			-	-	830	-	-
300	④廃油	44						-			44	41			4	-	44	-	-
400	⑤廃酸	220						-			220	211			1	8	153	-	-
500	⑥廃アルカリ	166						-			166	154			12	-	79	-	-
600	⑦廃プラスチック	49						-			49	49			-	-	47	-	-
601	⑧廃タイヤ	-						-			-	-			-	-	-	-	-
800	⑨木屑	56						-			56	56			-	-	56	-	-
1200	⑩金属くず	-						-			-	-			-	-	-	-	-
1300	⑪ガラスくず	0.4						-			0.4	-			0.001	0.4	0.4	-	-
2200	⑫管理型 混合廃棄物	44						-			44	-			44	-	44	-	-
2420	⑬石綿含有	0.8						-			0.8	-			-	0.8	1	-	-
2522	⑭蛍光灯	0.3						-			0.3	-			0.3	-	0.3	-	-
3520	⑮乾電池	0.1						-			0.1	-			0.1	-	0.1	-	-
	⑯	-						-			-	-			-	-	-	-	-
	⑰	-						-			-	-			-	-	-	-	-
	⑱	-						-			-	-			-	-	-	-	-
	⑲	-						-			-	-			-	-	-	-	-
	⑳	-						-			-	-			-	-	-	-	-
合計		18,685	-	-	17,630	-	1,192	16,438	-	-	2,247	1,983	-	-	255	9	1,668	-	-

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。

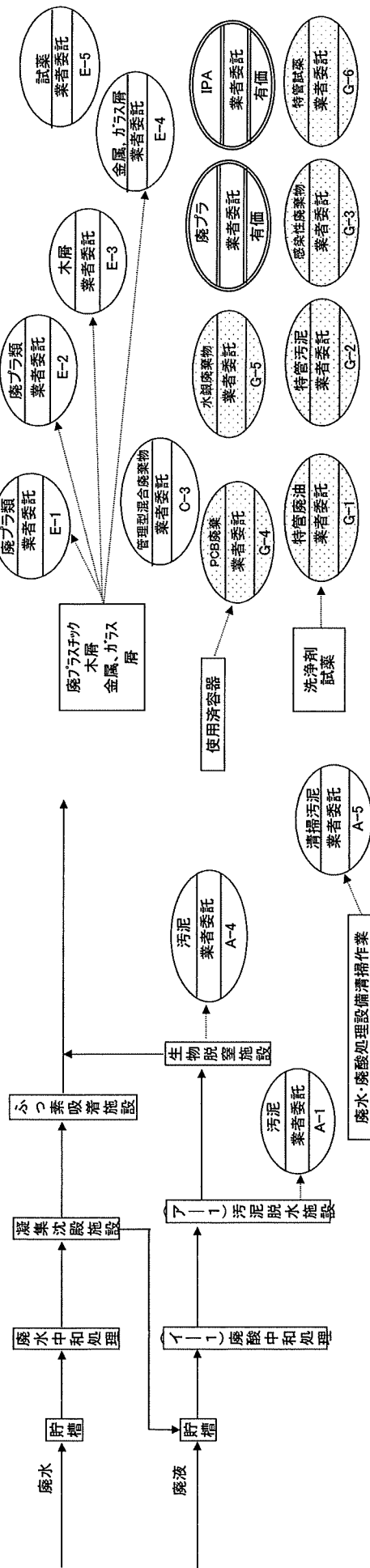
2022年度発生工程フロー図（特別管理、有用物を含む）

2022年度 産業廃棄物発生量: 20,293 ton/年
2022年度 産業廃棄物総排出量: 2,990 ton/年

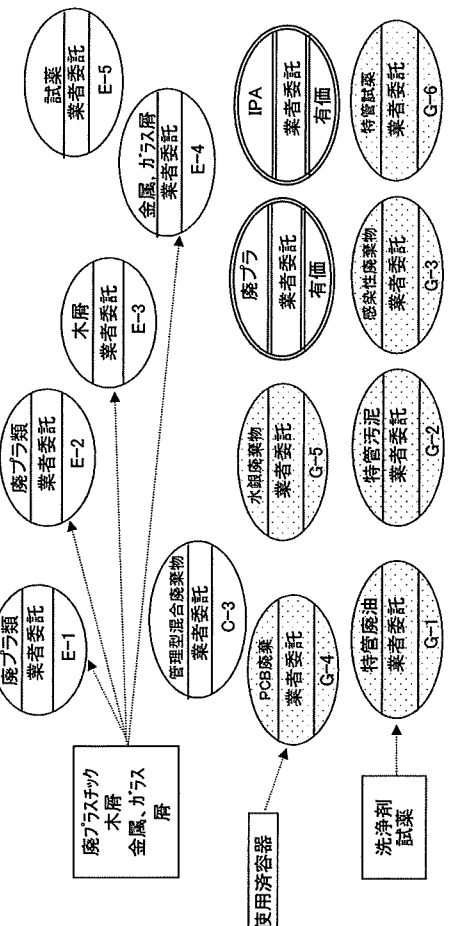
(1) 製造工程



(2) 排水・廃酸処理設備

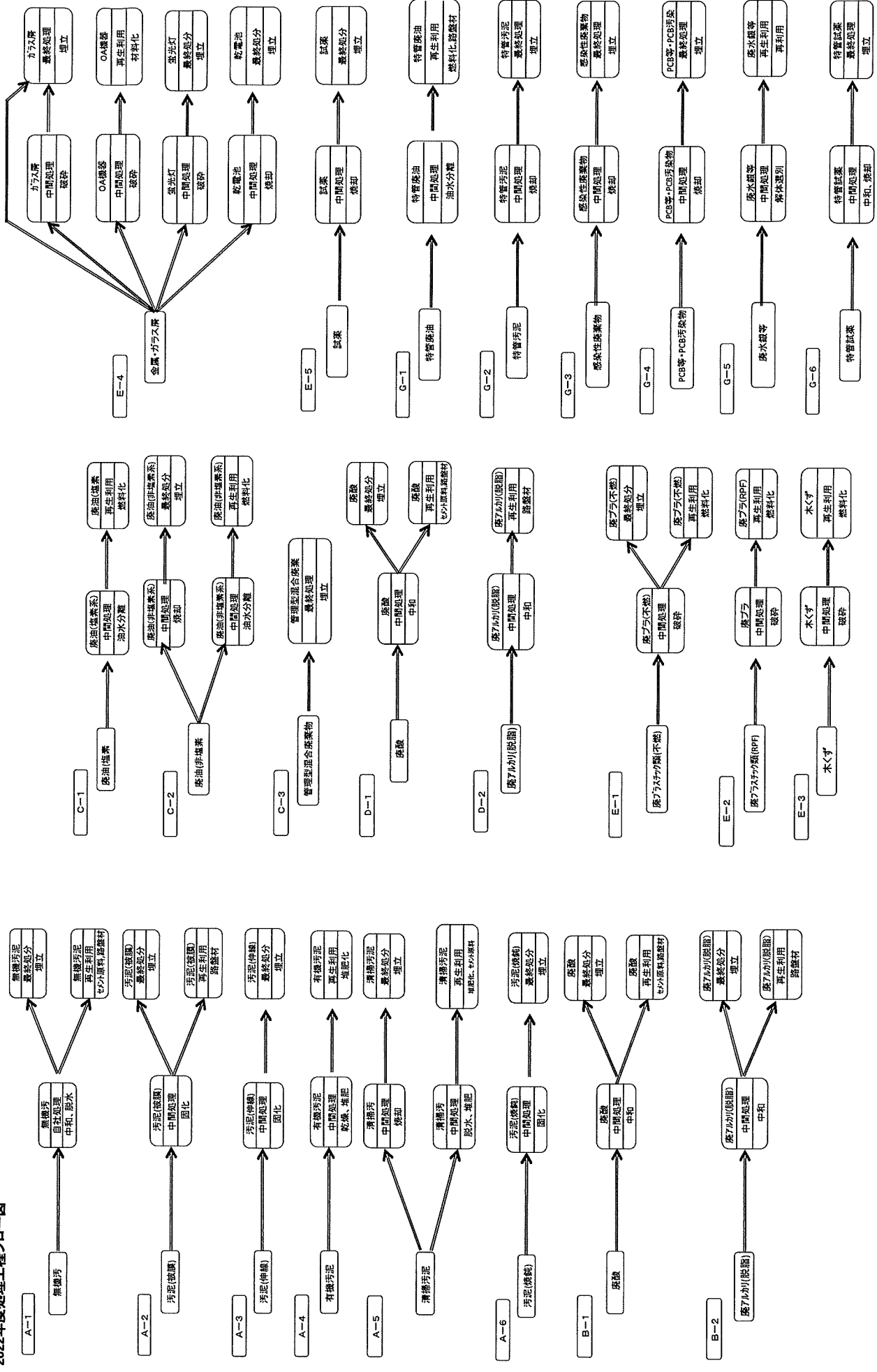


(3) 検査・出荷・他工程



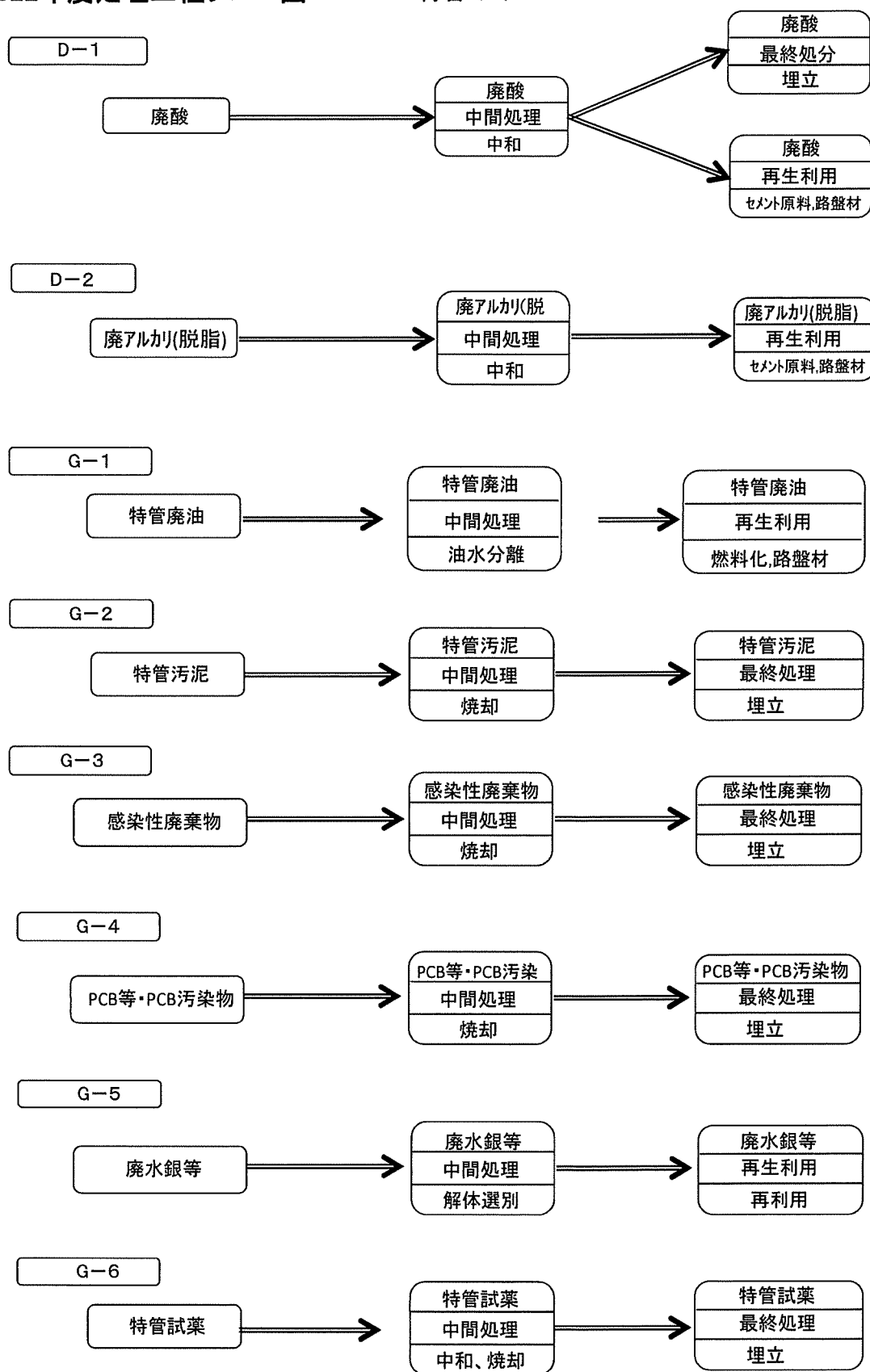
2022年度処理工程フロー図

2023/5/30



2022年度処理工程フロー図

特管のみ



日本精線株式会社枚方工場 産業廃棄物管理組織図

作成 2001/04/02
改訂 2023/4/1
日本精線株式会社枚方工場
設備部 環境室 作成

